

## 風雲告急

心理臨床センター副センター長 武藤 崇

「風雲，急を告げる」 心理学界は，今まさに，そのような状態なのではないでしょうか。自分の生業において，このような大きな変化が生じる機会はどうそうないだろうと思います。

しかしながら，通常の臨床活動も，そして研究活動も，そのような業界的な混乱とは別に，粛々に行われていくべきものです。というのも，心理・社会的な問題がたとえ減ることはあっても，（残念ながら）まったくなくなることはないでしょうし，心理学的な研究も（もちろん臨床心理学的な研究も含んで），歩みは遅くとも着実に進んでいくものだからです。このような「風雲，急を告げる」状況だからこそ，私たちは，自分の足下をしっかりと見据えて，一步一步着実に進んでいきたい。そのように考えております。

『心理臨床科学』も，早いもので第7巻となります。少しずつではありますが，本誌の特徴も定着しつつあると言えるかもしれません。読者の皆様におかれましては，本巻に掲載されました論文について忌憚のないご意見をお寄せいただけますと幸いに存じます。今後とも，ご教授・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

